

## お元気ですか

村田稔彦

京都府・二二・大学生

季節が変わる日というのが、年に二回あります。春が訪れる日と、秋が降りたつ日です。

春が来たことは、朝わかります。心地よい冷気が、小鳥のさえずりという魔法を使って、新葉とつぼみの芳香を眩しい光の中に散りばめていきます。春の美しさは、希望ゆえのものです。その日を境に全てが変わるのです。

そんな朝には、あなたの笑みが初めて僕に向かってこぼれた日のことを思い出します。その笑顔を見るためなら、どんな努力でもしようと思えました。横にあなたの存在を感じている時、僕は幸せに包まれていました。

覚えていますか。漢字の書き取りテスト。一問だけわからなくて、隣の

優秀賞

あなたのノートを見たら、あなたもそこだけ空欄で。その時あなたも僕のノートを見ていて、目が合いました。思わず二人同時にくすつと笑いました。

同じ瞬間に同じ想いを抱くこと、そしてお互いに同じ瞬間に相手が同じ想いを抱いていたのを悟ること、こんなに素晴らしいことはない、教えてくれたのはあなたでした。

秋が降りたつ日は夕方わかります。落ち着いた涼しさが空の高さを押し上げて、金木犀の甘い匂いと共に夕焼けに吸いこまれていきます。秋の美しさは悲しみゆえのものです。その日を境に全てが変わります。

そんな夕暮れ時には、あなたの目を見れなくなった日のことを思い出します。二人が同じ想いを共有する瞬間は二度と訪れませんでした。あなたのおふれんばかりの笑顔はむしろ輝きを増しているのに、僕はその、この世で最も美しいものを、失ってしまいました。

優秀賞

あのほほえみは、あなただけに神が授けた光です。なぜなら、それはあなたの心の美しさそのものだから。

あなたは今でもあの頃の夢を追いかけているのでしょうか。次に会う時には、君の瞳をまっすぐに見れる僕でありますように。

\*何も伝えなのまま会うことになくなった初恋の人に。